

# 建築士 おおた

新春号



Ⓐ 社団法人 大分県建築士会

2008 NO 102

# CONTENTS

1. 全国委員長会議に参加して	〈大支部〉 岐部 和久
3. 研究集会を終えて	〈三重支部〉 首藤 陽蔵
5. 連載「福祉と住宅改修」NO.10	〈津久見支部〉 大村 正壽
8. ちょっとたき火たいむ	
10. MY WORK	〈大支部〉 〈佐伯支部〉 〈宇佐支部〉 〈竹田支部〉
12. 会員紹介	〈中津支部〉 〈日田支部〉 〈大支部〉 〈臼杵支部〉
14. シリーズ 登録文化財 NO.23 太田缶詰株式会社	〈佐賀関支部〉 都 隆也
15. インフォメーション	
～ 国東支部 ～	山本 金次郎
～ 別府支部 ～	岡田 宏基
～ 大支部 ～	白石 浩章
～ 佐伯支部 ～	井上 一則
～ 日田支部 ～	鬼武 雅之
25. おおいた建物発掘隊	〈宇佐支部〉 奥田 和彦
26. 女性部会のPage	〈大支部〉 高山 鮎美
29. 行政だより	大分県建築住宅課・大分市役所
31. 事務局だより	事務局
33. 新会員紹介	事務局
編集後記	



1. 国東半島 黒津崎海岸

2. 国東町 弥生の村

3. 国東町 妙徳山泉福寺 大雄殿(仏殿)  
国重要文化財  
昔は曹洞宗九州総本山  
昨年解体修理が完成した。

4. 安岐町 旧三浦梅園邸  
国指定史跡



# 全国委員長会議に 参加して

大分支部 岐部 和久

3月7～8日にかけて、東京建築士会で日本建築士会連合会主催の平成19年度全国委員長会議がおこなわれました。今回のテーマは「4の力」を鍛えよう～洞察力・判断力・実行力・求心力～で、2日間に渡って参加してきました。

今回はワークショップを利用した会議によるボトムアップを体験する事で、現在建築士会において問題となっている会員減少、特に青年の減少・非入会はどうすれば良いのかと言う現実問題解決策について議論をしてきました。



講師の中埜先生指導の下、テーマを上げ「パターンランゲージに基づく合意形成」という手法を用いて行っていく事になった訳ですが、実際どのように進めていけばいいのだろうかと思っていました。

中埜先生からの提案で、まず2人1組になって相手の似顔絵を書くところから始めて下さいとの指示。あまり得意ではないのだけれど…とっていると、手順に従ってよく相手を観察しながら書いてくださいと…意外と書けるもので、今までよりいい出来。

この後、絵の下に1～3の番号を書き、相手に質問を3分間して1と2には相手が言った事を書き、3には自分が感じた相手の印象を書くことに。そしてグループの中で互いに紹介していくことになりました。この似顔絵を持ちながらの紹介は、グループ内での参加者の印象と特徴をつかみやすくして、発言の意図をつかむ為の物と判り、良い経験でした。

本題の会議を進めるにあたってリーダー（今回の会議ではファシリテーター）を決めるところから始めたのですが、過去の会議ではグループ内を3人程度の小グループに分けて、それぞれにリーダー・書記を決定し進行していたのですが、今回はグループのリーダーが全ての進行と書記も行うとの事！大変な事になるなあと感じていました。で、こういう事はなぜか自分に廻って来る事が多くて、結局グループの書記をすることに…流石に1人でリーダーと書記をする事は無理なので、書記を引き受ける代わりにファシリテーターは別の方をお願いして会議を進めていきました。



この会議が他の会議と大きく違うのは、より具体的な行動（アクションプラン）を出す事が目的で、全ての問題点を大きくまとめてしまうと、この部分がぼやけた物となってしまう、どうにか問題点を1つ2つに絞って議論をしていきたかったのですが、やはりこの「パターンランゲージに基づく合意形成」という手法になれていない為に、あいまいな物となってしまうました。休憩時間に他のグループではどうなったのだろうと思い、成果品を見るとやはり具体性が無くあいまいな解答ばかり…この後グループを組替えて、各グループで発表質疑をする事になっていたのですが、このままだと行動提案に具体性が出ないのではと…

休憩終了後ワークショップを開始したのですが、講師の中埜先生から「今行ったワークショップの問題点について全員でやってみましょう」と…やはりこのまま次のステップに進めてしまうのは、問題ありと感じたのでしょう。各グループの議論結果が書かれた模造紙を壁に貼り、グループのリーダーが会議の進行状況を説明。終ると中埜先生から質問の嵐が…私のグループは私が代表して説明をしたのですが、やはり中埜先生から質問の嵐が…今までの経験と実情を基に解答していったのですが、やはり押し黙ってしまう結果に。しかし、この事が大きな収穫となりました。



問題点を厳選してそれだけを集中して解決する、議論中に全ての問題点に掛かりそうな解決策があったらそれとリンクさせる、そして解決策に優先順位をつけて実行計画を作る。そしてこの実行計画に問題点が無いか議論する。

意外と出来そうで出来ない事に気づき、どのように展開していけば良い流れになるのか、問題点のポイントはどこか、それは共有できているのかと…会議を短時間で密度の高い物とする為の方法を、改めて考える良いキッカケとなりました。

1日目の長い会議が終わり、懇親会へ。今回は終了後に東京士会との交流会も行われました。

話題は今日の会議へ…お酒が入って本音が出てくる。皆今回の会議が今までで1番良いと口々に言っていたことが印象的でした。

2日目、私たちのグループでは、昨日挙げた問題点を再吟味して、主に士会に入会して得る事の出来るメリットについて挙げて貰うことにしました。

メリットには短期的（仕事につながる情報）なもの、長期的（人と人との交流＝つながり）なものに分かれたが、共通のキーワードとして「つながり」を主体テーマにして議論を重ねる事にしました。この中で特に休眠会員の掘り起こしを行う事が、活動の活性化もしくは新規入会の拡大へとつながるのではないかととなり、具体的なアクションプランとして青年メンバーのプロフィールをデータベース化して会員向けの情報発信とし、内容については職能や士会での活動状況を掲載する事で、士会に所属し活動する事が社会貢献や地域とのつながり、そして自身の職能の具体的PRとなる場になる事をメリットとして位置付ける事にしました。

又、ここではもっと具体的に「誰が・いつから・どこで」という決定も行われ、誰が「青年委員が」いつから「新年度から」どこで「ホームページ・会誌で」と実行にあたって具体的目標をつけることが出来ました。

私は今回で3回目の参加となるのですが、今回程充実した会議は無かったのではないかと感じました。今後の連合会への要望アンケートにも、このような充実感のある会議を望む内容を書いてきました。しかし、日程の関係で参加できなかった方もいます、1日ならば参加可能な方が多くなり、よりこの充実した会議を体験できるので開催日程については再検討してくださいとの内容も書き込んできました。ただ、もし可能であれば自分自身の向上の為にも参加してもらいたいと思いました。

今回の会議で出されたアクションプランは会議の練習ではなく、実際に各单位士会にて更に具体的アクションプランとして実行する事になっています。今後、青年部委員会の中で具体的アクションプランを検討して、今年度実行していきたいと思います。



# パッションINさがに参加して

～Shall we MEJIRONdance～

三重支部 首藤 陽蔵

「違うやろ。ゴー、オー、アイ、ティー、エー、おおいた」

(手と足がバタバタ動いてます。結構きつい。)

「はい、もう一回」「ゴー・・・」

「首藤さん(私)、手が逆です・・・」

「えっ、そうすっか?ハア、こっちですかね?」

志賀さん(佐伯支部) ハア。」

・・・どっちでもいいやろ、この際・・・

(ようぞう心のさけび)

これはパッションINさがを2日後に控えた、三重支部事務所での様子です。

パッションINさがで、めじろんダンスを踊ることになって、県南(三重・竹田・佐伯)支部で合同練習会をしました。

10帖ほどの事務所の中で小さなディスプレイをのぞき込みながら、冬なのに汗びっしょりになり踊るおやじたち・・・異様です・・・

あまりにも真剣に練習したために写真を撮り忘れてしまったことを悔やんでいます。

それと、遠目に見るとかわいいけど、そばで見ると幾多のイベントに使い回され、よこれと異臭を放つ、めじろんきぐるみのなかでもがいてくれた、竹田支部の江上さん。お疲れ様でした。会場のほとんどが誰かはわからないあなたに注目してましたよ。

それからイカの活き造りとってもおいしかったです。



参加した三重支部

後ろ左から首藤、村上、地元の人、阿南、宮成  
前左から伊美、岡めじろん



青年部めじろんダンサーズ

その甲斐あって、懇親会ステージでは、どの県より盛り上がってました。



私は、第2分科会「環境と自然エネルギー」に参加しました。

九電からの送迎バスに乗り込み玄海原子力発電所にむかいました。

小学校の社会見学以来で訪れたそこは、すっかり様変わりして、まるで博覧会会場のような感じでした。まあ、前来たときのことよく憶えてないんですけどね。

莫大なエネルギーを生み出すこの原子力発電。行く先々で安全性を強調し、絶対的な管理下にあることをアピールしていました。

それは、サーカスの猛獣使いにも似て・・・、鞭を持つ人間に対して、服従しているライオン。しかしいつか牙をむくとどうすることもできない非力な人間・・・ウランという凶暴なライオンを怒らせないようにお願いしますね。・・・なんとなくそんな思いがしました。核分裂。まさに究極のエネルギー燃料といえるのではないのでしょうか。

その後場所を移動し、玄海町市民会館へ。

なんと立派な建物でしょう。これも原発のおかげか？

ここでの講習は、太陽光発電所ネットワーク福田精二さんによる、太陽光発電や風力発電を中心としたクリーンな自然エネルギーの話でした。先ほどの原発とは対極にある発電方法といえるでしょう。

気象観測史上もっとも暖かかった、日本の年間平均気温ベスト12年間に直近の11年間がランクインされています。地球温暖化が原因ですね。

そんな中で日本は太陽光発電の家庭普及率は世界1位だそうです。2004年までは累積導入量でも1位でしたが、現在はドイツが1位ついで日本、その後大きく開いてアメリカ・スペインと続きます。

家庭から出される二酸化炭素の多い順は1位 車、2位 家電、3位 暖房、4位 給湯です。暖房と給湯を太陽熱に替えることで約4割の二酸化炭素を削減できるそうです。実際に太陽光発電と太陽熱温水器を併用されている家庭の二酸化炭素排出量は、同レベルの世界平均の41%だそうです。

日本の太陽発電製造メーカーは世界シェアの約50%と高く、いまやその多くは環境先進地域のヨーロッパへと輸出されています。

最近では、全く新しいタイプの安価で設置できるタイプも開発されつつあります。

福田さんの話では、今の日本の政策では、太陽光発電を家庭で設置した場合、設置費を回収するのに20年かかるそうです。それがヨーロッパでは8年で回収できるそうです。それだけ、家庭からの電気を高く買ってくれるということなんですね。

だいたい日本では20円/kwh、ドイツでは80円/

kwhです。韓国でも今年から80円/kwhで買い取りを始めたそうです。その辺が普及率の伸び悩みにつながっているようですね。

私もいつもソーラーパネル設置を検討している一人ですが、なかなかふんぎれません。今回の話を聞いて少し前向きな気持ちが強くなったような気がします。

二酸化炭素増加による地球温暖化。人類が抱える生命の危機ともいえる大問題。われわれ建築士としても、たとえば住宅を設計、施工するとして、冷暖房費を低く抑えられる構造にするとか、リサイクル可能な建材を使うとかいうことを考えるのは当たり前ですが、太陽光発電については、本当のところどうなのか？ということに気にはなりながら、詳しくはわからないまま過ごしてきた人も多いのではないのでしょうか。今回、実際にそれを設置しているユーザーでもある福田さんの話は大変参考になりました。

我々の住む地球。その中で人間の生存可能な大気の層は地球をリングにたとえると、赤みを帯びた1mmに満たない。あの皮の厚みでしかない。その部分の二酸化炭素の量が問題になっているんです。地球温暖化って、ほんとは非常にデリケートな話だったんですね。

私も地球に優しいライフスタイルについて考えることをメインテーマにしたブログを公開しております(ロハスルームで検索)。

われわれ建築家はものを造ると同時にある意味、環境を破壊しているといえます。環境への負担を軽くするものづくりをもっとみんなで考えていきたい。そう思います。

次の日は三重支部の仲間と呼子に足を伸ばし、風に見える丘や名護屋城博物館を見学して帰りました。



風に見える丘より海を見下ろして。

津久見支部 正会員

福祉住環境コーディネーター 大村 正壽

1月26日(土)・27日(日)に大分県社会福祉介護研修センターで開催された平成19年度「第2回福祉用具・住宅改修研修会」に参加した。

開催の目的は「介護保険制度7年目を向かえ、要介護者の日常生活の自立や介護負担の軽減が図られることから福祉用具・住宅改修の活用が拡大している。

その中で、利用者やその家族の生活環境の整備を行い、生活機能向上を図ることが重要であり、住宅改修の効果的な活用のための支援体制の整備・強化が求められている。

そこで、住宅改修研修会を実施し、改修のポイントやトラブルの防止等の知識を習得し資質の向上を図ることを目的とする。」とある。

それぞれの専門職の人が他の専門分野を学び、理解することは重要であるが、他の専門分野を実践レベルになるまで学習することは、難しさを感じた。

現実的には互いに理解しあった各専門職が、チームを組むことが必要と思われる。

講義とテキストの内容の設計・施行関係は割愛し、福祉の住宅改修で大いに役に立つと思われるところを掲載した。

「住宅改修の目的と効果」は私なりに整理をした、「チェックリスト」はテキストを掲載。

#### 研修時間

二日間とも10:00~16:00

#### 研修内容

「住宅改修の基本と実践」

#### 講師

篠原章次氏 (一級建築士)

福祉環境デザイン一級建築士事務所代表  
(北九州市)

#### 研修対象者

- ・住宅改修事業者
- ・福祉用具貸与業者
- ・介護支援専門員
- ・理学療法士
- ・作業療法士

#### 定員

200名

#### テキスト

90ページ (A4)

研修会は経験豊富な講師と内容の充実したテキストにより、大変有意義な講習会であった。

「福祉の住環境」づくりには、福祉、医療、設計、施行専門職の方々がともに、「利用者の立場に立つ」目線で進めなければならない事を改めて感じた。

## 住宅改修の目的と効果

加齢による 体の変化	反応速度の低下	反応速度の低下	・高齢期では青年期の3/4程度です。	
		筋力の低下		
		平衡感覚の低下。		
	視覚、聴覚の低下	視覚	視覚	・遠近の調節機能の低下。 ・暗順応の低下。 ・眩しさを感じやすくなる。
				・白内障と緑内障。
			聴覚	・高音域の聴力低下。(老人性難聴) ・言葉の聞き分け能力の低下。
		循環器系の機能低下	血管、心機能	・動脈硬化 ・高血圧症 ・心筋梗塞
			暑さと寒さの関係	・ヒートショック
	骨格系の機能低下	骨粗鬆症	・カルシウム、コラーゲン、骨量、運動不足など	
		骨折しやすくなる	・脊椎圧迫骨折 ・大腿骨頸部骨折 ・橈骨遠位端骨折	
	消化器系の機能低下	唾液量の不足による誤嚥 消化吸収能力の低下による便秘		
呼吸器系の機能低下	肺機能の低下	・肺活量の低下。 ・ガス交換の減少。		
生活動作の自立 と意欲の増大	自立と意欲の増大 → 介護量の低減と解消 → 家族、人間関係の円滑化			
生活動作の 自立	起上り→座位保持→ 立上り→立位保持→移動	・食事・更衣・排泄・入浴		
基本姿勢	当の本人、家族から聞き取り調査を十分に行い、ニーズの把握に努めます。			
	思い込みや知識の先走りは改造の障害となります、謙虚な気持ちで接しましょう。			
	住宅改造によって、利便性が高まる事と合せて、介助者の負担の軽減につながる事を、 家族の方々にも理解していただくように努めます。			
チェック事項	日常生活の 動きを知ること	・日常生活動作とその方法。 ・所要時間のチェック。 ・自立度のチェック。		
	身体機能を知ること	・身体機能評価の確認。 ・将来に渡っての進行のチェック。 ・改造を行った場合、新しい環境での日常生活動作が出来るかどうかは、 身体機能に大きく影響を受ける事が多く見られます。		
居住環境を 知ること	敷地の状況	・建物の道路・隣地との位置関係と空間スペースの大きさの確認。		
	建物の構造	・柱、壁、の位置関係と壁の状況。		
	設備の状況	・水廻りのレイアウトと介助スペースのチェック。		
	間取りの状況	・介助スペース、居住スペース、専用・共用スペースの状況。		
	自宅の所有状況	・持家が借家かでの改修の可能性の判断。		
家庭環境	家族構成と人員の確認	・キーパーソンの把握。 ・介助が必要な場合には、家庭内の、介助者の人数と介助分担のサイクル。		
経済環境	経済環境の把握	・改造費用の捻出方法と、支払者の確認。 ・公的費用の助成申請の必要なケースの把握。 ・費用対効果の検討、経済状況により改造プランの実施の可能性の検討。 ・改造工事よりも福祉用具を活用することにより、より安価に生活の改善が 図れるケースもあるので、検討の必要があります。		
安心な 住まい造り	・段差の解消。(住まいのバリアフリー化)			
	・車イスの生活では、移動と回転のスペースが必要となります。			
	・トイレ、浴室での介助スペースの確保、車イスでの利用を考慮した広さ等。			
	・出来るだけ同じ階での生活を。			
	・先を見越しての住まいづくりを。 ・温熱環境の整備をしましょう。(寒暖の差をなくすことが大切です)			



# チェックリスト

## 基本事項

相談日 平成 年 月 日

氏名		歳	男・女
	生年月日	明・大・昭・平	年 月 日
住所	〒 TEL ( )		
相談目的	新築		
	改築		
	増築		
	設備・機器の導入		
	福祉用具の導入		
その他			

## 家族状況

氏名	続柄	年齢	職業等	介助・備考

介助・備考欄：主な介助者は●、補助的な介助者は○とし、その他の疾病、障害及び介助の継続の可能性等について記入します。

## 身体状況

身長	cm	体重	kg	利手	・右・左		
視力	裸眼	眼鏡	状態	補聴器利用	握力		
	右	聴力				右	kg
	左	左				左	kg
健康状況	1. 問題なし 2. やや問題あり 3. 医療機関にかかっている 持病・疾病名 ( )						
	生活上の制限						

## 住宅状況

基本事項	所有形態	建物 ・ 持ち家 ・ 借家 ・ 借間 ・ 給与住宅 敷地 ・ 所有地 ・ 借地			
	建物形態	・ 一戸建 ・ アパート ・ マンション ・ 公営住宅 ・ 公団 ・ その他 ( )			
	用途地域	・ 第1種低層住居専用地域 ・ 第2種低層住居専用地域 ・ 第1種中高層住居専用地域 ・ 第2種中高層住居専用地域 ・ 第1種住居地域 ・ 第2種住居地域 ・ 準住居地域 ・ 近隣商業地域 ・ 商業地域 ・ 準工業地域 ・ 工業地域 ・ 工業専用地域 ・ 用途地域の指定の無い区域 ( )			
	工事の種類	・ 新築 ・ 改築 ・ 増築			
建築概要	階数	階	敷地面積	㎡	
	床面積	1階 ㎡	2階 ㎡	3階 ㎡	計 ㎡
	主要構造	・ 木造 ( ・ 軸組工法 ・ 桝組工法 ) ・ RC.SRC造 ・ 鉄骨造 ・ その他 ( )			
	設備	給水設備 ・ 上水道 ・ 井戸水 給湯設備 ・ キッチン ・ 洗面所 ・ 浴室 汚水設備 ・ 下水道 ・ 汲取り ・ 浄化槽 ガス設備 ・ 都市ガス ・ LPガス			
室内状況	室名	広さ	床仕上	状況	
	アプローチ			道路からの段差 ( mm )	
	ポーチ			段差 ( mm )	
	玄関			段差 ( mm )	
	廊下			内法 ( mm ) 手すりの有無 ( ・ 有 ・ 無 )	
	階段			内法 ( mm ) 踏面 ( mm ) 蹴上 ( mm ) 手すりの有無 ( ・ 有 ・ 無 )	
	寝室				
	リビング				
	キッチン			対面式・背面式 ( ・ I型 ・ L型 )	
	洗面・脱衣				
トイレ			便器 ( ・ 洋式 ・ 和式 ・ 兼用 )		
浴室			・ 和式・洋式・和洋折衷・UB ( ・ 据置 ・ 半埋込み ・ 埋込み )		

障害状況	障害部位		等級	級
	障害歴			
リハビリ歴				
介護状況	介護認定	・ 無 ・ 有	認定年月日	平成 年 月 日
	・ 要支援 ( ・ 1 ・ 2 ) ・ 要介護 ( ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 )			
福祉サービスの利用状況	ホームヘルパー	・ 有 (週 回)	・ 無	・ 申請中
	入浴サービス	自宅・施設	・ 有 (月 回)	・ 無 ・ 申請中
	デイサービス	・ 有 (週 回)	・ 無	・ 申請中
	訪問看護	・ 有 (月 回)	・ 無	・ 申請中
日常生活	移動	室内	歩行移動	・ 自立 ・ 見守り 超えられる段差 H= mm
			杖歩行	・ 自立 ・ 見守り 杖のタイプ ( ) 超えられる段差 H= mm
	移動	室内	座位移動	・ 四つんばい・座位移動・膝歩き 超えられる段差 H= mm
			車イス移動	・ 自立 ( ・ 手動・電動 ) ・ 要介助 移乗動作 ( ・ 自立 ・ 要介助 ) 超えられる段差 H= mm 昇れるスロープの傾き 1/
	起上り動作	・ 自立 ・ 要介助 ( ) 寝具 ( ・ 布団 ・ ベッド )		
	座位保持	・ 自立 ・ 要介助 ( )		
	立位保持	・ 自立 ・ 要介助 ( )		
	立上り動作	マット	・ 自立 ・ 要介助 ( )	
		イス	・ 自立 ・ 要介助 ( )	
	食事	・ 自立 ・ 要介助 ( ) ・ 道具を使うと一人で出来る ( )		
更衣	・ 自立 ・ 一部介助が必要 ・ 要介助 (方法 )			
排泄	・ 自立 ・ 一部介助が必要 ・ 要介助 (方法 )			
入浴	・ 自立 ・ 一部介助が必要 ・ 要介助 (方法 )			

室内状況	室名	広さ	床仕上	状況
	居室			
	居室			
	居室			
	居室			
福祉用具	・ 水平移動用リフト(天井走行型・床移動型) ・ 階段解消機 ・ 階段昇降機(椅子型・テーブル型) ・ ホームエレベーター ・ 排泄用機器 ( ) ・ 入浴用機器・環境制御機器			

## 予算・資金

予算総額	( ) 万円		
内訳	手持資金	( ) 万円	
	助成金	( ) 万円	
	公的融資	( ) 万円	

特記事項				

# ちよつと たき火 たいむ

みなさん。最近の世の中って結構辛い事が多くないですか？でも、過去にもそんなことは沢山あったはず。そんなことに負けないよう、最近あった微笑ましいことや想いを載せてみました。

少しずつでも、心が暖まるように会員のみなさんもたき火を囲んでみませんか？投稿をお待ちしております。

●となりの犬がうちの庭でこちらを見ながら脚をプルプル震わせウンコをしていた。

少し、ばつが悪そうだった。 (かず)

●前を歩く白猫はモンローウォークだった。数歩あるいた後で、振り返ってニャーとないた。セクシーだったので見惚れてしまった。 (ZEN)

●この前テレビを見ていたら、どんぐりころころ どんぐりこ～おいけにはまってしゃ～ないねん♪と園児たちが歌っていた。ぜったい歌詞は違ってますよね。 (ナオ)

●2歳になる愛娘は、色々な言葉を発するようになったのに、「ママ」とは言ってくれません(>\_<)早い頃から「パパ」は上手に言えていて、大好きなアンパンマンは「アンパンパン」という始末です。次回のこのコーナーには、「ママって呼んでもらえました!」とご報告できる事を願って…念仏のように唱え続けようと思います^^; (四つ葉)

●団塊世代のぼやき

今年の5月から雀の涙ほどの年金がもらえる、老後の足しとちょっとの小遣いにと思っていた矢先、田舎の母が倒れ、有料老人ホーム行き、足は立たぬが元気がいい、俺の年金が介護費に回る、俺たちの老後はどうなるのだろうか?… (昭和23年生まれ)

●今秋、国体の地元開催が予定されています。大会競技の順調な進行には、多くの裏方さんの下支えが必要になります。皆さんまたは知人のなかで、「野球

審判員だったら、ちょっと興味があるのだけど…」という方がいらっしゃいましたら、お気軽にご連絡ください。このイベントを機に一緒にボランティアしましょう。 (裏方その1)

●最近、建築士間の話に耳を傾けると、冗談半分に姉齒は死刑にするべきだと言う声がよく聞こえてきます。申請書類が3倍に増えたとか、審査が厳しい、確認期間が延びた等、どうにかならないものかな…。 (まーくん)

●青年部を見ると高齢化して壮年部と言っても良い程の連中が一所懸命活躍しています。各支部の役員さん積極的な女性部も含め若者の入部、頑張ってください。 (まーくん)

●仕事の初めに迷惑メールを削除し終わりに又削除する。どないなってるんや。 (K・M)

●以前から探していた某コンビニエンスストアでしか売っていない、チョコレートのロールケーキをやっと見つけ、喜んでレジに持っていったところ、「ピーピー」「すいません賞味期限切れです。ほかの商品をお願いします。」って、「こらー、どんだけ探したと思っちゃんのかー。バカー」という思いをグツとこらえながら、肉まんを買って帰りました。店員さんお願いですから賞味期限切れの商品は早めに片付けてください。 (マユゲの濃い犬)

●編集委員になって数年経ちますが、自分が編集委員になって初めて「建築士おおいた」がどのようにして出来るのかが分かりました。それを知る事ができたのは、とてもいい機会でした。そして、自分の書いた記事が掲載されるのもいいものだなと思いました。まだ記事を書いた事のない皆さん一度どうですか? (N)

●今年は、花粉症がひどくて苦しい日々を送っている今日この頃です。時が経つのはあっという間で、もう3月!4月からまた新たな気持ちで、仕事に、プライベートに、がんばろうと思っています。 (のえみ)

●飛行機。恥ずかしながら人生35年目にして初飛行?(初搭乗)ほんの数年前の事。パッション沖縄で始めて乗った。この話しをすると「飛行機きらいなん?」とか「今時珍しい、そんな人が乗ったら何かあるよ」と…。ただ、たまたま乗る機会が無かっただけなのに。で、これがきっかけで毎年乗る様に

なった。しかも、毎年、搭乗回数が増えて行くし必ず何かがある。沖縄行きでは上空待機…。東京からの帰り着陸の直後急ブレーキ…。台風接近中… etc。今年も3回ほど搭乗予定、なにがあるやら。でも…飛行機大好き!! (Becky)

●鍋猫ブームにあやかって、我が家も昨年猫を二匹家で飼い始めました。血統書も何も無い猫達ですが、飼えばなかなか可愛らしいものです。唯一の話相手です。 (Y・N)

●沖縄に行ってまいりました…。沖縄ってなんであんなに空が青く澄んでいて、そして空気がさっぱりしてるんでしょうね。大分の空、空気とは、まったく違って海外に来たような気分になります。退職される方々が、沖縄に移住したい! っていうのも、分かるような気は…します。ただ、その人達のために、沖縄の自然を切り崩し、リゾート化するってのは、なんか本末転倒のような気がしてならないのですが…。どう思われます?

それにしても、最近どこの観光地に行っても、町並みや土産など、どことなく似ていて、なんか寂しい気持ちになります。あれもこれもって、詰め込んだ結果なんだろうけど、なんだかなあって…思っちゃったりします。話を戻しますが今回は沖縄に行きました。そこで沖縄の「美ら海水族館」を紹介します。有名なのはパノラマ水槽とジンベイザメですね。水族館は国立公園の中にあり、沖縄本島の北部にあります。那覇から行くのに時間がかかるのが難点です、広大な公園敷地の中の、海が望める場所に建っている、それだけで反則的な雄大さを感じさせられます。

水族館の中はというと、いたってシンプルです。沖縄の海の中を切り取ってきたように、自然光が帯になって水槽の中に注がれ、魚達を照らす。海に潜ってみたらこんな感じなのかなと思います。パノラマ水槽の前では、ジンベイザメの雄大さ、マンタの表情や他の魚達を目で追っていると、時間がたつのも忘れ見入ってしまいました。水槽の中の魚達は、ゆったりと泳いでいて、見ている人間に「ゆっくりでいいんだよ。」と語りかけているようにも感じます。建物に入る前には、沖縄の海を望みながらエスカレーターで降り、建物を出るともっと近くに海を感じることが出来ます。

ジンベイだけじゃないです。その他人工尾びれで有名になったイルカのフジや海がめ館、人魚伝説のモデル、マナティなど見所満載です。

行く際は時間にゆとりを持って行くことをお勧めします。とにかく時間がゆっくりと感じますので…。ところで皆さんはどこかに行った際、携帯で写メを撮りますか?

あれってどうなんですかねえ。パノラマ水槽を離れた所から見ると、写メを撮るために光っている携帯の画面が多い事にびっくりしました。

一通り撮ると、すいーと行っちゃうんです。写メを撮る事で見たって感じになるんでしょうね。もったいないな～、もっと自分の目で見れば良いのにな、いらぬ世話ですが思ってしまう。ぜひ画面ではなく、自分の目で一度行って見てみて下さい。

実は美ら海水族館に行くのは今回で2回目なんです。前回行った時は、熱中して見て帰ってから館内の写真が全くないことに気付いたんです。。

これもどうかと思いますが。昼は水族館や海で南国風情を味わい、そして夜はオリオンビールに泡盛。

そんな沖縄に行ってみてはいかがでしょうか。

(飯倉)



大きなジンベイザメの銅像が迎えてくれます。



海がめ館から本館を見る。



# MY WORK

- ★建物名称 engawaの家
- ★建物場所 大分県大分市羽田
- ★設計者 アトリエテイクー級建築士事務所
- ★施工者 有限会社木本総合建設
- ★構造・規模 木造2階建て・89.98㎡
- ★用途 専用住宅
- ★竣工日 平成18年8月

## ★設計主旨

昔ながらのengawaをテーマにした住宅。  
リビング全体をengawaに見立て、庭とのつながりを大事にしている。リビングと庭をつなぐ連続窓は、家族やご近所さんにとっての玄関となっている。



- ★建物名称 子育てママの家
- ★建物場所 佐伯市弥生
- ★設計者 (有)川合工務店 川合 竜二
- ★施工者 (有)川合工務店 川合 竜二
- ★構造面積 木造2階建て
- ★用途 専用住宅

## ★設計主旨

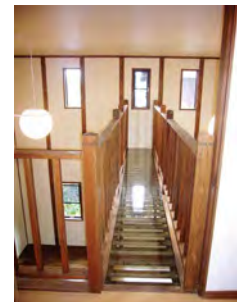
3次元CADや模型を駆使し、顧客とのイメージの共有を図りわかりやすい提案を心がけた建物です。  
共働きの主婦の家事軽減に重点を置きキッチンの横には買い置きした食品をストックできる空間を設け、脱衣室も3帖の広さをとり、家事室を兼ねています1階の廊下は階段を囲む吹き抜けを持つ回廊型プランとし家事動線の効率化と上下階の採風に配慮しました。収納については玄関横に多目的に使える玄関クロークを配置し屋根裏にも法規上税制上有利な収納をとり片付にかかる家事労働の低減にも配慮しました。

仕事に家事に子育てに忙しいママさんが快適に生活でき、ご主人と共に楽しい家庭を築いてくれる事を願います。



# MY WORK

- ★建物名称 奥田邸
- ★建物場所 宇佐市大字別府
- ★建築主 奥田 和茂
- ★設計者 (株)奥田組一級建築士事務所  
奥田 和彦
- ★施工者 株式会社 奥田組
- ★構造・面積 木造2階建て 180.89㎡
- ★用途 住宅

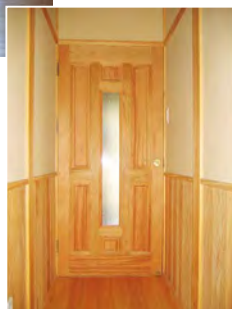


## ★設計主旨

- お客様の要望は、
- ①大きな吹抜のあるリビング
  - ②リビングに薪ストーブ設置
  - ③3層構造にしたい
  - ④和風モダンな外観 他

以下の条件をふまえ動線（キッチンを中心に水周りの動き方）を考えました。吹抜にキャットウォークが存在し、おもしろい空間ができました。吹抜空間は熱効率が悪いのですが、薪ストーブの効果は絶大で、暖かく温もりが感じられました。

- ★建物名称 森邸
- ★建物場所 竹田市大字飛田川2126-3
- ★建築主 森 智幸
- ★主要用途 住宅
- ★延べ面積 223.08㎡
- ★構造 木造2階建て
- ★設計・施工 竹田市 (有)川野組



## ★設計主旨

「もったいないから始まった家造り」  
工事で切り倒される杉、桧を大切に保管し廃校になった小学校のシンボルになる楓が切り倒されることを聞きもったいないともらってきたり。道路工事で伐られる楠をもらったり。もったいない、可愛そうだと集めた木で建てた家です。少し大工手間はかかりましたが、いろいろな木が喜んでいきます。

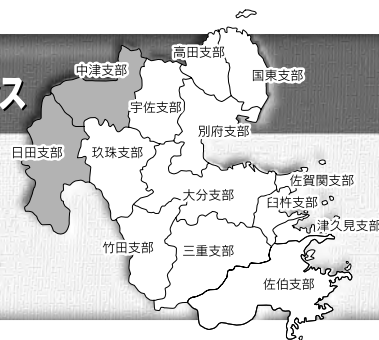


# PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

## 会員紹介

(掲載については順不同です)



- ★生年月日 昭和50年12月17日
- ★勤務先 (株)三信建材社 中津支店
- ★趣味 子供と過ごす休日  
(楽しい事)
- ★将来の夢、モットー等

この度、建築士会中津支部に入会致しました、  
(株)三信建材社 営業課の松尾です。

当社は、プレスセメント瓦、セラミック瓦の製造、販売、施工をはじめ太陽光発電システム、屋根工事外装工事、水廻り工事、その他一般建材の販売等を行う住宅に関する総合商社です。商品の多様化が進む現在、取引先のニーズを的確に把握し商品と情報をタイムリーに提供していける様、日々努力をしています。家族を守る大切な住まいだからこそのいいものを使い、安心のある健康な暮らしが出来る事によって、人の心を豊かにしていきたいと思いますので、そのお手伝いが出来る様、頑張っていきたいと思えます。

どうぞ宜しくお願い致します。



松尾 英昭 (中津支部)

- ★生年月日 昭和53年6月11日
- ★勤務先 (有)宿利建設
- ★趣味 野球・バイク

### ★将来の夢、モットー等

初めまして、この度建築士会日田支部に入会させていただきました、武内と申します。幼い頃より大工である父や叔父の現場に遊びに行ったり、いろいろな家造りを見ていくうちに、自然と建築の道を歩むこととなりました。無事、家が完成してお客様に喜んでいただけた時、建築という仕事に携われて良かったと思います。建築士会に入会したのを機に初心に戻り真心こもった家造りをしていきたいです。先輩方にいろいろ教わりつつ、自身のスキルアップのためにもがんばっていきたいと思えます。



武内 将勝 (日田支部)

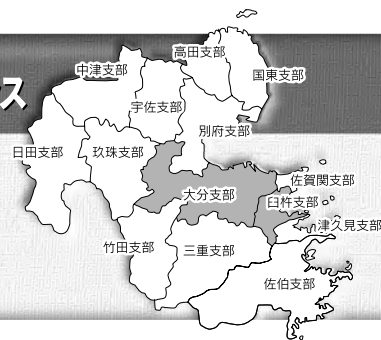


# PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

## 会員紹介

(掲載については順不同です)

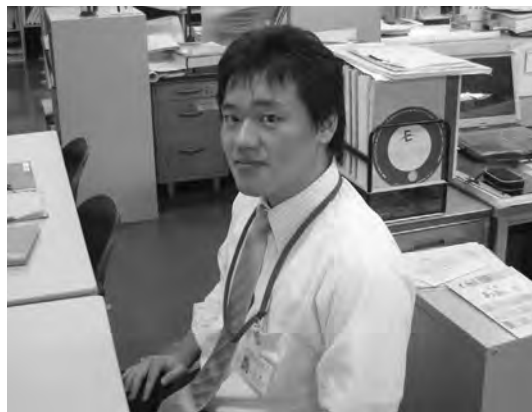


- ★生年月日 昭和60年2月21日
- ★勤務先 大分市役所 街路建設課
- ★趣味 ボウリング、ツーリング

### ★将来の夢、モットー等

はじめまして、この度建築士会大分支部に入室させていただきました、川野と申します。昨年4月に大分市役所に勤め始めました。

社会人1年目ということもあり、分からないことが多くまだまだ力不足ですが、大分市役所を希望した理由でもあった「これまで自分が学んできたことを地元で役に立てたい」という気持ちを忘れることなく、精進したいと思います。よろしく願い致します。



川野 祥 (大分支部)

- ★生年月日 昭和39年1月26日
- ★勤務先 T's architecte 竜一設計工房
- ★趣味 音楽・ウインタースポーツ・食べる

### ★将来の夢、モットー等

竜一設計工房の赤嶺です。

会員紹介のコーナーは、いつもフレッシュな人々が掲載されておりますが、たまには、もさいのもOKかと……

今、臼杵支部では2008大手門周辺百年計画の検討会が日夜おこなわれておりこれから変わりつつある中心市街地の町並みについて熱く議論がかわされております。

そんな臼杵の住人・臼杵支部の会員に、今携わっている自分が幸せと思う今日この頃です。

“臼杵が、おもしろえで、あそびにこんな。コントソソデ。”

……観光案内になってしまったような……

注意 写真は決して臼杵石仏ではありません  
本人です。



赤嶺 竜一 (臼杵支部)

シリーズ 登録文化財 No.23

# 「太田缶詰株式会社 母屋・土蔵・石蔵」

佐賀関支部 都 隆也



太田缶詰全景

名 称：太田缶詰株式会社  
(母屋・土蔵・石蔵)  
所 在 地：大分市佐賀関秋の江  
建築年代：1907年(明治40年)  
登 録：1999年(平成11年)  
構 造：木造・土蔵造・石造



時代を感じさせる石蔵外観



陽光を受ける母屋縁側



竣工時からあるカーテンレール

築後100年を経た太田缶詰工場。保存状態が良く殆ど手直しも行っていないので、今でも創建当時の面影を感じる事の出来る建物です。

母屋では、明治時代の調度品と広々とした空間に包まれながら、「早吸の瀬戸」で取れた新鮮な料理を堪能する事が出来ます。

アクセス：佐賀関漁港より歩いて5分  
営業時間：(昼) 11:00~14:30  
(夜) 17:00~21:00  
料 金：昼5,000円~・夜7,000円~  
問 合 せ：097-575-0001 (要予約)



天井が高く、広々とした空間の母屋座敷

# インフォメーション

INFORMATION

国東支部



## 子ども大工道場



「子供大工道場を運営して」

国東支部 山本 金次郎

平成19年7月19日

入門式から始まりました。国東小学校の男子10名、女子4名の5.6年生が集まってくれました。

子供たちの自己紹介、建築士会員の担当者の自己紹介そして子供たちに一人ずつ入門証が渡されました。

一輪車練習用補助ポストと一輪車格納庫（約5㎡）の木造平屋建てを計画しました。



8月4日

体育館に隣接した敷地はアスファルト舗装されておりその解体から始まりましたが灼熱の太陽の下での作業は我々建築士会の面々は少々バテ気味、子ども達の元気を貰っての作業でありました。



始めてみる電動チップパーやモルタル練のミキサーにも興味を持ち懸命に働く子ども達の活躍は見事なものでした。日陰を探し交代で作業をしましたが3時間ほどの作業でアスファルトの解体からモルタル練、配筋、均しまで終わる事が出来ました。



8月19日

製材所見学と墨付けと加工に挑戦しました。

杉の原木で成長の過程やさしがねの利用法などの勉強をし、その原木が半自動の製材機で柱など様々な製品になる過程では説明も不要でありました。



柱や桁などの墨付けや穴掘り機での穴掘りも交代でする事にしましたが力のいる事から会員が手伝う事で仕事の難しさや体力の必要な事も解ったようです。





11月4日

学校行事などで延び延びになっていた工事も午前中、午後と行なう事で無事に建物完成までこぎつける事が出来ました。



昼食には建築士会員と一緒にバーベキューを楽しむ事で一層親密な関係が出来たように思います。



午後の作業は板貼りと塗装する事、それに一輪車をかける金物の取り付けなどを分担して行ないました。



この日が一番張り切って作業が出来たようです。子供たちの目の輝きは私たち建築士会の良い刺激となる事でしょう。こども棟梁の晴れ姿です。名札（棟札）を付けて完成しました。



12月9日

国東こども大工道場の子供たちともお別れの日になりました。予定は1週間遅くなりましたが医者であり哲学者、天文学者、建築家の三浦梅園の設計した旧邸で修了式が行なわれました。真夏の基礎工事から今日の見学会までみんなで頑張りました。こども達には大工道場がどのような思い出として残るのだろうか？こども達は十数年後子供を連れて来て「これは父さんが小学生の時作ったんだよ」「これ、母さんが子供の頃、友達と作ったんだよ」と思い出の一つとして残って欲しい。様々な体験の集合であり、そうあって欲しいと願っています。



子供たちの「国東こども大工道場」に参加しての感想文が全員から建築士会へ届けられています。

最後になりましたが快くご協力頂きました沢山の皆さんへ心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

詳しくは下記HPで公開されています。  
「国東こども大工道場」のホームページアドレス  
<http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/daiku-0.htm>

# こども達の感想文集



## こども大工道場に参加して



### たのしかったくぎ打ち 五年 石田 康幸

ぼくは、大工道場でくぎをたくさん打ったことが心に残っています。ふつう、自分でくぎを打つのは、ちょっとした工作の時だけです。それが、みんなで家を建てて、かべとか柱にくぎを打ち付けたので、楽しくて、心に残っています。他にも、のこぎりで木を切ったりしたのも心に残っています。

ぼくは、大工道場に通って、家をいっけんたてることが、どんなに大変かがよく分かりました。

大工さんたち、今日までやさしく教えて下さって、ありがとうございました。

これからもお仕事にがんばって下さい。

ぼくたちもがんばります。



### たくさんの経験ができた大工道場 五年 林 新太

ぼくが大工道場に通って、一番心に残っているのは、一輪車倉庫を完成させた日のことです。とても大変だったけど、柱たてやくぎ打ち、ペンキぬりなどたくさんの体験ができたからです。他にも、工場に行つてのみや機械を使って、丸太からできた柱に穴や溝をほったり、材木を切ったりするのも楽しかったです。ぼくは、大工道場に通って、家を建てるには、大工さんたちの努力や経験がたくさん必要だということがよく分かりました。

大工さんたち、ぼくたちのために分かりやすく、やさしく色々なことを教えて下さってありがとうございました。これからも、大工のお仕事にがんばって下さい。ぼくたちもがんばります。



### たのしかった柱たて 五年 谷口 航一

ぼくが大工道場で一番心に残っているのは、最後の日に柱を立てたところです。なぜかという柱を立てるのが一番苦労したけど大きな金づちでたたいたりして楽しかったからです。

他にも、工場に見学に行つて、柱を作るのが楽しかったです。大きな丸太を、すごく大きなのこぎりで切つて柱を作りました。作った柱にのみで穴をほったりしました。つかれるけど楽しかったです。

ぼくは、大工道場に通って、小さな小屋を建てるにもたくさんの苦労をするということが分かりました。

大工さんたち、やさしくきびしく教えて下さって本当にありがとうございました。



### たくさんの機械にふれた大工道場 五年 堤 稔喜

ぼくが心に残っているのは、製材所にいたときのことです。すごく大きな機械があつて、丸太を大きなのこぎりで切っていました。「良く機械であんなにきれいに切れるな」と、思っていました。

他にも、一回目の大工道場で、コンクリートを機械でけずつていきました。その仕事も楽しくて、心に残っています。ぼくは、大工道場に通つて、「大工さんは、いろいろな努力や勉強をして、りっぱな大工さんになったんだろうな」と、思いました。

大工さんたち、ぼくたちが通っていないときも、ぼくたちのために準備を下さってありがとうございました。

これからもお仕事にがんばって下さい。

ぼくたちも勉強にがんばります。



### 失敗したけど楽しかった大工道場 五年 鶴田 奈々

私が大工道場で一番心に残っているのは3日目の最後の日のことです。私は今まで、くぎとか打つことがなくて初めて打ちました。失敗もしたけど、楽しかったです。

2日目にかや島製材所に行つて、木を切る機械を見たときは、大きなのこぎりなので、びっくりしました。でもあんな機械を動かせる人もすごいな一と思いました。

大工さんと家を建てて、大工さんは朝から夜まで働いて、何日もかけてやつとりっぱな家を建てていることが分かりました。あと、大工さんはいろいろな機械を使い切れないとつとまらない仕事だと思いました。

大工さんたち、やさしく教えて下さってありがとうございました。

バーベキューもして下さってありがとうございました。これからもがんばって下さい。私もがんばります。



### がんばれば何でもできるんだ 五年 須藤 光一

ぼくが一番心に残っているのは、くぎを打つて木を止めたことです。最初にしたときは、くぎが曲がつて、なかなかまっすぐに入ってくれませんでした。でも、何度もやつていくうちに、まっすぐ入るようになったのがうれしかったです。

ほかにもコンクリートをぬつて、固めてきれいに平らにするのもむずかしかったです。

ぼくは、大工道場に通つて、がんばれば何でもできるんだということが分かりました。

あんなにすごい一輪車倉庫ができるなんて思いませんでした。大工さんたち、やさしく教えて下さって、本当にありがとうございました。



**いい経験になった大工道場**  
六年 新川 久美子

私が大工道場で心に残っているのは、くぎを板に打つときのことです。くぎを板に打つとき、金づちでたたくと、手が痛くて大変でした。打つと、くぎが曲がって、むずかしかったけど、きれいにくぎを打てた時はとてもうれしかったです。いい経験になりました。

他にも、工場に行って、いろいろな機械を見たのも心に残っています。とても迫力がありました。

いろいろな機械をさわって、楽しかったです。

私は大工道場に通って、今は機械があるのでかんたんにできることも、昔は、機械がなかったので大変だったということが分かりました。

大工さんたち、時には厳しいときや、怒られたこともあったけど、ていねいにやさしく教えて下さってありがとうございました。



**やさしかった大工さん**  
六年 入江 修

ぼくが大工道場に通って、一番心に残っているのは、家を建てるのが完成した時です。なぜかという、家とか作ったことがなかったけど、初めて完成させることができうれしかったからです。ほかにも、初めて大工道場へ行った日に、コンクリートを塗った後、強くするために、ぼうでたくさん穴を開けるのが、おもしろくて心に残っています。

ぼくは大工道場に通って、初めて知ったことがあります。それは大工さんたちがとてもやさしく教えてくれるということです。ふざけた時にはきびしくおこられたけど、とってもやさしかったからです。大工さんたち、これからも大工という仕事にがんばって下さい。

ぼくも、学校の勉強にがんばります。



**大工さんの技術と経験**  
六年 倉永 銀二郎

ぼくが大工道場に通って、一番心に残っているのは、色んな機械にさわったことです。コンクリートに穴を開けたり、ねじをうめこんだり、大きな丸太を切ったりする機械を見たり、使ったりすることができたからです。

他にも、製材所に行って、大きなのこぎりの機械で、丸太を切るのを見たのも心に残っています。

ぼくは大工道場に通って、家を建てるのはかんたんだと思っていたけど、大工さんたちは、長い経験と技術を身につけていて、家を建てているんだということが分かりました。大工道場の大工さんたち、ぼくたちにやさしく、ていねいに大工の仕事を教えて下さってありがとうございました。

お仕事大変でしょうけど、がんばって下さい。ぼくたちもがんばります。



**うれしかった完成の日**  
六年 堤 雅貴

僕が一番心に残っているのは、一輪車倉庫が建った時のことです。その日だけで、土台を取り付け、柱を立てて、屋根もつけて、かべまで完成したからです。

「できるかな」と思っていたけど、できたときはとてもうれしかったです。朝九時からの仕事で大変だったけど、お昼に大工さんたちといっしょにバーベキューもできて、うれしかったです。

ほかにも、製材所に行って、見学して、色んな機械にさわったことも楽しかったです。

ぼくは大工道場に通って、家というのは、何人もの大工さんが苦勞して、長い時間かけてたてているということが分かりました。

大工さんたちにはいろいろなことを教えてもらいました。今まで本当にありがとうございました。



**おいしかったバーベキューとかき氷**  
六年 鶴田 卓大

ぼくが一番心に残っているのは、一輪車倉庫を完成した日のことです。

朝から夕方までずっとくぎを打ち込んだり、柱を立てたりしました。大変だったけど、できたときはうれしかったです。

昼休みには、大工さんたちがバーベキューをして下さいました。とってもおいしかったです。他にも、最初の大工道場の時、かき氷を食べました。それもおいしくて、うれしかったです。大工道場に通って、大工さんはいろいろな道具をもって、使いこなしているんだということが分かりました。

大工さんたち、ぼくたちにやさしく、ていねいに教えて下さってありがとうございました。これからもお仕事にがんばってください。ぼくたちもがんばります。



**大工道場に通って分かったこと**  
六年 今富 康平

ぼくが大工道場に通って一番心に残っているのは、一輪車倉庫が完成した時のことです。いつも、ぼくは、大工道場に来ると、「早く完成しないかな」と思っていたからです。ぼくは、くぎ打ちにがんばりました。曲がったりして「やべ！」と思ったりしたこともあったけど、完成したときはとてもうれしかったです。他にも、工場見学に行って、大きな機械で丸太を切って、四角い柱にして、それに穴を開けていったのもたのしかったです。

ぼくは大工道場に通って家というのは大工さんが長い時間と苦勞をかけてたてるものだということが分かりました。だからこれからは、自分の家を大切にしたいです。大工さんたち、いつもやさしくていねいに教えて下さってありがとうございました。おかげで思い出に残る一輪車倉庫ができました。





### 研修旅行

## 広島近代建築と世界遺産を訪ねて

別府支部 岡田 宏基

別府支部では研修旅行を2年おきに一泊旅行・日帰り旅行と交互に行っています。今年は一泊旅行の年とあって、企画段階から様々な提案があったのですが、近代建築と世界遺産を訪ねて広島まで足を伸ばすことになりました。

参加者は総勢25名で、とても賑やかな研修旅行になりました。

### ● 研修行程 ●

1日目(1月26日)	2日目(1月27日)
建築会館に集合	ホテル発
↓	↓
山陽自動車道経由	宮島口
↓	↓
広島平和記念資料館	フェリーにて宮島へ
↓	↓
世界平和記念聖堂	厳島神社
↓	↓
広島市内にて懇親会	宮島にてお好み焼きの昼食
↓	↓
広島市内泊	宮島発、山陽自動車道経由
	↓
	別府にて解散



### ● 広島平和記念資料館 ●

戦後の日本建築はここから始まったと言っても過言ではない、記念碑的な建築です。

設計：丹下健三計画研究室(丹下健三・浅田孝・大谷幸夫)

施工：大林組



ピロティにより空中に浮かせて、グラウンドレベルで景観軸を通しています。その軸は100m道路と直交して原爆ドームを望むように設定されました。



### ● 世界平和記念聖堂 ●

RCの躯体に灰色のレンガを積み上げて構成されており、ファサードを構成する塔と聖堂のバランスは絶妙です。

設計：村野藤吾+近藤正志/村野・森建築事務所

施工：清水建設

聖堂の設計者を選ぶためにコンペが行われましたが、“コルビュジェ色”が強い丹下案・前川案の評価を巡って意見がまとまらず、丹下案を2等とし、1等なしという結果に終わりました。

そして審査員であったはずの村野が設計者に選定されるという波乱の経緯があり、このためか、村野はこの建築の設計料を受け取らなかったといえます。



世界平和記念聖堂の内部。ステンドグラスからの光が荘厳な雰囲気を作り出していました。



塔の最上部にある鐘。教会のご厚意により、今回は特別に案内していただきました。



外壁部分。レンガの目地はわざと粗く仕上げられており、ディテールの随所から“人の手”が感じられました。

## ● 巖島神社 ●

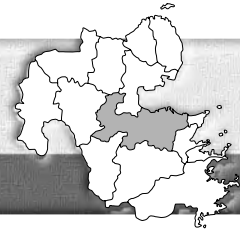
平安時代末期に平家一族の崇敬を受け、仁安3年(1168年)ごろに平清盛が現在の社殿を造営しました。鎌倉時代には多くの社殿が火災により失われましたが、1241年に再建されました。現在建っている主要な建造物はこのときに建てられたものです。



巖島神社は平成8年12月に世界文化遺産として登録されました。登録されたのは前面の海および背後の弥山原始林(天然記念物)の森林を含む区域の431.2ヘクタールで、島全体が文化的景観を成している点を高く評価されたということです。



牡蠣とお好み焼きも頂きました。



### 大分支部 白石 浩章

雨の降る寒い2月2日、府内町のテイコクボールにて第7回ボウリング大会が開催されました。竹宮青年部長のあいさつ、ルール説明に引き続きまして前回優勝者の大分市役所 佐藤富士雄さんの始球式によりプレイボール！（通常、始球式は皆さんの注目の的ですが・・・いつのまにか・・・事務局カメラも構えず・・・よって写真なし・・・すみません）参加人数20人と少なかったのですがゲームの方は盛り上がり、それぞれ目的が違う中、毎年このために福岡から戻ってくるFさん！またしても賞品をゲット・・・さすがです。（そろそろ手を抜いてもらいたいものです・・・なんて）



一言でボウリングといっても人それぞれ 昔とった杵柄でカーブを描きながらピンへ・ゆっくりと止まり そうなスピードでピンが雪崩のように倒す女性・レーンの途中まで投げるパワーポラーなどなど同じスポーツでありながら色々なスタンス（多分その人の人生を表しているような気がします・・・ハアハア）があるものです。力だけでは倒れず力がなければ駄目、ストレートよりカーブと言った具合に奥が深い球技であると改めて感じました。

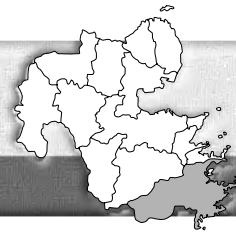


最後に、参加人数が少なく残念でした。

このような楽しい場があるのに参加しない手はないと思いますが・・・体を動かし美味しいお酒を飲み、同じ建築士と知り合え親交を深めるチャンスです。来年は、今年より多い参加により盛大に開催できることを祈念して、大会の報告とさせていただきます。







まだまだ継続中

## トライアングル'94

佐伯支部 井上 一則

昨年の秋ですが、我支部と延岡支部(宮崎県)、幡多支部(高知県)の越県三支部交流会「トライアングル'94」が、今回は幡多支部のホストで行なわれました。この会は、1994年からスタートし、昨年で13周年を迎えたものです。

当時私は青年部長をしており、同じような境遇の三支部で何か出来ないかと、我支部の発案で発足。

内容は交流だけでなく、県都からの遠距離感、交通の不便さ、綺麗な一級河川のお膝元と言う共通項の多さからくる連帯感で、「どげんかせんといかん」意識の向上が最大目的です。

今回の幡多支部さんが仕掛けた内容は、同じ四国の「愛媛県の史跡、有名建築を見て、感じて、語ろう」というものでした。

開催日は昨年の11月10、11日の二日間でした。

二日間共天気は晴れ、朝晩寒し、昼間はポカポカで日射強しの天気。

朝、延岡支部の二人と合流し、同じ車に乗って白杵のフェリー乗り場へ直行。

三時間ほどの船旅で八幡浜港へ到着。

此処で幡多支部の二人と合流し、計8名+4名(家族)での研修+交流会がスタートしました。

### ①史跡ツアー11月10日(土)

[大洲城]

ここは旧来の工法で復元した木造の天守閣です。

釘は当時使用してたであろう和釘一本一本まで製作したり、柱の建て方、梁の掛け方まで再現したようです。全国でも珍しい、本物の復元された天守閣、是非皆さんも一見の価値有りの建築です。



[内子町]

ここは全国に先駆けて、町並み保存に取り組んだところです。

中仙道の妻籠・馬籠には遅れましたが、西日本では早くから保存活動に取り組んだところで有名です。江戸期にタイムスリップできる、いいところです。





## ②宿泊

お宿は松山の「松山No.1ホテル」でした。

安価な設定だったけど、新しくて部屋もこじんまりしてたけどとても綺麗でした。

街の中心に位置し、歓楽街にも近く利便性に富んでいるところでした。

懇親会は近くの居酒屋さんを予約してくれ、参加メンバーの自己紹介に始まり、建築にも関係する「発想+連想ゲーム」で盛り上がりました。

お開き後はそれぞれが夜の街へと散って行き、松山を堪能したようです。

これも研修だと、皆さん言っていました。

## ③有名建築ツアー 11月11日(日)

### [坂の上の雲ミュージアム]

松山城の麓に位置し、安藤忠雄氏設計の建築。

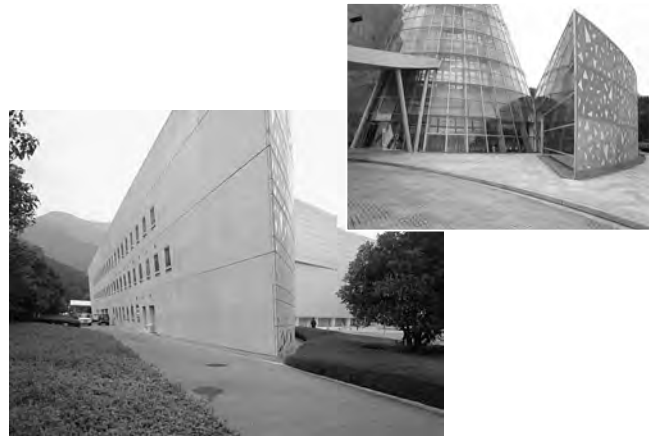
随所に安藤ワールドの設計術が散りばめられています。



### [愛媛県総合科学博物館]

故黒川記章氏設計の建築。

科学技術、産業等、生涯学習に関する常設展示とプラネタリウムもあり、一日いても有意義に過ごせる場所のようです。



久しぶりの四国でしたが、

うどんも食べ、チャンポンも食べ、練り物もいただき、いい建築も観れて本当いい旅でした。

帰りのフェリーは少し波浪警報の影響で揺れましたが、無事帰りつくことができました。





## 「天領日田の葺シンポジウム」 に参加して

日田支部 鬼武 雅之



開会挨拶

この講演を通じて、建造物の見方や物を大事にするといった点等を、改めて考え直す事ができました。その中の一つとして、物を大事にする事は、色々な事と結びつくように思えます。振り返ってみて、壊れたり、使えなくなると、まずに直すことを忘れ、新品を買い換えたり、捨てたりして、物を粗末にしていたと強く反省しています。



金 型

・今回復元された江戸、明治大正、昭和の時代の三種類の豆田オジリナル瓦の金型。景観保存の主要素は外観である。軒先瓦を残すことが、その町の景観保存には大切である。

今回のテーマ「瓦」(物)は、日常、風雨などといった過酷な状況から私たちを守り、そして助けてもらっています。また、瓦が我々と同じように呼吸している事を恥ずかしながら、初めて知りました。物を物ではなく、本物の物には本物の愛情を持って接し、メンテナンスし大切にしていこう気持ちを強く持ちました。当たり前のことなのですが、忘れていました。考えてみると、職人さんが気持ちを込めて造ったものを、適当に扱うわけがないと。



シンポジウム

### ・シンポジウム「瓦文化の過去と未来」

コーディネーター

江面嗣人氏 (岡山理科大学教授)

パネラー

小林章男氏 (鬼師:文部科学省選定保存技術保持者)

宮本雅明氏 (九州大学大学院教授)

山田脩二氏 (カワラマン)

富安裕子氏 (豆田町伝建保存会)

養父信義氏 (NPO法人 本物の伝統を守る会)

本当に、このシンポジウムを通じ、屋根景観や瓦史に感動し、保護に取り組む方針を知る事ができたと同時に、大切なものを思い出す事ができました。

開催日:平成20年2月23日(土)13:30~

開催場所:日田市豆田町 日田豆田文化交流館



# おおいだ建物発掘隊

## 宇佐市編

### 街かど残照「高砂マーケット」

宇佐支部 奥田 和彦

かつて高砂マーケットと呼ばれた木造アーケード付き建物も四日市の歴史を感じさせる建物の一つです。それは東別院の山門から東にまっすぐ伸びる道路と平田水路が交差する北側にあり、西別院に通じる道路と東別院に通じる道路の間約20mに造られています。

今はマーケットの面影は無く、夜に2軒の飲食店が営業しています。

この建物に関心をそそられるのは、その外観と構造にあります。外観は屋根が3つ山形に重なっていることです。国宝に指定されている宇佐神宮の本殿は内院と外院の2つの屋根がくっついて断面がM字形をしています。高砂マーケットは2つの建物が離れて間が通路となっておりその上にも屋根があるので、宇佐神宮より1つ多い3屋根構造になっています。

どうしてこのような建造物ができたのか、ご近所で育った方々や地権者の方に建物の歴史についてお聞きしたところ、もとは「高砂湯」という銭湯だったそうです。西側が男湯、東側が女湯となっており、南側を流れる平田水路の水をタンクに溜めて沸かし、北側が出入口や脱衣場になっていました。そして、中央の高い屋根は浴室の湯気を出すためのものだったことがわかりました。



建物  
北側外観

戦争末期頃から銭湯経営は困難となったので、戦後の昭和24年に建物の骨格はいかにして中央屋根の下を通路とし、東西の浴室を店舗に改造し、さらに北側と南側に増築してミニ商店街としました。そして、銭湯の名称から高砂マーケットと呼ばれるようになりました。マーケットが賑わったのは昭和30年代頃だったそうです。戦後の復興期、この場所で豊かに物や夢が商われたのだと思います。

高砂マーケットの残照は、誰かに紹介したくなるような四日市の「世界遺産」です。



建物  
南側外観



小屋裏換気部分



汲上げられていた水路



中通路部分

# 女性部会の page

## 平成19年度 第4回大分県女性建築士住宅セミナー報告

**開催日時** 平成20年2月23日(土)  
**テーマ** 職人と木の家造り・やさしさの家造り  
**講師** (有) 藤丸建設代表取締役 藤丸 直行氏  
(有) 藤丸建設棟梁 阿南 美根(みね)氏  
**主催** 大分県農林水産部 林産振興室  
(社) 大分県建築士会 女性部

### 大分支部 高山 鮎美

梅の蕾がほころび始めた2月下旬、文化会館 第1小ホールにて、『第4回大分県女性建築士住宅セミナー』が開催されました。今回は、平成19年度第2回の住宅セミナーで講演して頂きました藤丸氏に加え、女性棟梁である阿南美根氏をお招きしての講演会です。

開会前の準備では、マイクテスト中に阿南春美部会長の素敵な歌声が披露され、講師のお二人と主催者側の交流では、お二人のお人柄のお陰を持ちまして、会場がパッと明るくなり、和やかな雰囲気です。始める事が出来ました。

まず、大分県建築士会女性部部会長の阿南春美さんより『開会の挨拶』です。



次に、大分県農林水産部林産振興室参事の川村晃さんより『主催者挨拶』です。川村さんのお話によると、

内閣府が行っている『住宅に関する関心性についての調査』では、木造の機能や耐震について求められる方が多いそうで、木造住宅への関心をうかがう事が出来ました。



再び、阿南部会長より『今年度、第1回～第3回のセミナーの報告』をして頂きました。

そして、いよいよ講演の始まりです。初めは、『やさしさの家造り』と題しまして、藤丸建設棟梁の阿南美根氏にお話頂きました。



美根棟梁は、大工として働く女性が少ない中、更に数少ない女性棟梁として活躍されている貴重な方です。

そんな美根棟梁が、大工の道を目指したのは25歳の頃で、太陽の元で働きたい、手に職をつけたいという思いや、子供の頃実家を新築した際の大工さんへの印象などから、大工さんは格好いいという思いもあり、不安はなく、やるしかないという気持ちだったと採用当時の事を語られました。しかし面接時には、丸坊主のジャージ姿、自転車に乗って行ったというお話には、会場の方々から笑いがおき、美根棟梁自信も「今じゃ考えられない、よく社長も採用して下さったものだ」と、改めて藤丸社長へ感謝されていました。

仕事を始めたばかりの頃は、大工用語や物の長さを寸や尺で言うことに慣れず、センチで言ってくれないものか思ったり、のみや刃物を研ぐことが大変だったそうです。3年程の下積み乗り越え、初めて墨付けをさせてもらう事になった際には、先輩の作業を盗み見たり、何度も練習したりしましたが、棟上げまでは生きた心地がせず、20棟ほどの墨付けを経験した今でも、棟上げの際はドキドキするそうです。しかし、高い所は好きで、棟上げを無事に終えた時の安心感・達成感は格別なので、棟上げは好きな工程でもあるそうです。

そして現在、棟梁としての経験も豊富になり思うことはというと、「藤丸建設で家を建てて頂くお施主様には、様々な不安を取り払い、満足してもらえよう努力をしたい。お施主様のおかかえ大工でありたい。」という事だと語られ、お施主様と家造りに対する真剣な思い、そして『やさしさ』を感じました。

そんな美根棟梁の最近の悩みは、若い大工さんが続きにくいことで、仕事をしていると、楽しい事より辛い事の方が多いので、そういう思いのままで辞めてしまう事がかわいそうだとされていました。そんな所にも、美根棟梁が大工という仕事へのやりがいを感じている事がうかがえ、また後輩を真剣に思う『やさしさ』が伝わってきました。

特に印象的だったのは、お施主様との関係性についてのお話で、藤丸建設では、お施主様との交流の場として、木工教室やソフトボール大会を開催したり、一緒に旅行に行ったり、偶然出会って食事をしたり、もちろんそれらの際には飲酒も欠かせないそうで、このような交流もプラスして、本当の意味での信頼感や安心感、藤丸建設さんらしい人と人との温かい結びつきが生まれ、会社のモットーとされている、『気持ちを込めた気持ちの良い家』に繋がるのだと思いました。

人前で話すことは苦手だという美根棟梁は、終始緊張された面持ちでしたが、会場の笑いを誘いつつ、大工としての思いや木の家造りについて素直に語り、大工の仕事への誇りを感じる事が出来ました。ま

たその後、スクリーンには、美根棟梁の現場作業時の写真が映し出され、講演では見る事が出来ない、職人としての真剣な眼差しを拝見する事が出来ました。

続いて、『職人と木の家造り』と題しまして、藤丸建設代表取締役の藤丸直行氏にお話頂きました。

藤丸社長には、第2回住宅セミナーの際にも講演して頂きましたので、今回新たにお話頂いた内容を中心に報告させていただきます。



まずお話は、ご自身の幼少時代についての木との関わりから始まりました。子供の頃は、よく木登りをされていて、枝が折れて木から落ちる事は珍しくなかったそうです。「よく生きていたなあと思うほど、激しく落ちたり転がったりした事もあった。」と笑いながら話されていましたが、そんな経験をしていく中で、子供ながらに、乾燥した木か生木か…つまり木の強度的なものを、自然と身に付けていったのだと言われていました。そういった、子供の頃に木と親しんだ経験があってこそ、木への愛情を持たれた、現在の藤丸社長がおられるのではないかと思い、藤丸建設の根源をお聞きしたような思いでした。

そして話は現在に移ります。藤丸社長は、若い大工さんの育成を積極的に行われており、若い人を早く育てるにあたって、早く棟梁になれるようにする為に、藤丸建設の住宅に使用する木である『杉と檜』に集中して教えるそうです。建築用に使用できる木材というと、国産材から外国産材まで含めると、種類は豊富で、それぞれに特質があるため、身に付けなければならない知識は莫大なものです。しかし、長年の経験と研究から、木造住宅を建てる際には、その土地土地で育った木材を使う事が、一番その建物の為になるのだと強くお話されていました。だからこそ、藤丸社長は県産材に拘っており、おのずと教育方針が見出されたのです。



一般的な住宅には、木造以外にもRC造やS造などがありますが、木造に拘る訳もはっきりされており、「木の家に住むと、長生きできる」と言われた事は、とても印象的でした。それは、無垢の木は季節や環境に合わせて自分自身で調湿しますが、鉄やコンクリートは調湿等できないことが大きなポイントで、生け花の保存性の調査では、RC造の建物内で3日ほどしかもたなかった花が、木造の建物内では1～2週間もったという結果もあることから言える事だそうです。

もちろん、同じ木造でも、材料や構造、設計、施工などによって、その効果は大きく左右されます。誤った方法で建ててしまうと、黒かびの発生やダニの増殖、それらがアレルギー源になり健康被害を起こしたり、シロアリの餌食になり本来の強度や寿命を保てなかったり、様々な問題が出てきます。しかし、上手に木と付き合えば効果は大きなものであり、お施主様の生活の拠点となる住宅だからこそ、木に拘るのだというお話に、会場の参加者の方々も「うんうん」とうなずきながらお話を聞かれていました。

上手に木と付き合う条件の1つとして、近年、木造用木材は、プレカット加工を採用することが多い中、藤丸建設では木材の手加工をされています。手間がかかっても手加工に拘るのは、木には雄木・雌木といって人と同じように男女があり、組み合わせや相性を考えないと、本来の強度を出すのは難しいからだそうです。ネジに例えると、雄木はナット・雌木はボルトの役割で、雄木より雌木のほうが強い事が多いそうで、「実は、人間の世界も女性の方が強いんですよ。木と同じだなあ。」と笑いながらお話されていました。

また、木造住宅というと『木は燃えるから弱い』『木はヒビが入るから良くない』『木の家はランニングコストが高くなる』『木を使う事は環境に良くない』といった印象を持たれる事がありますが、それも使い手次第であり、「このような誤った印象や現実を無くすべく、今後も頑張っていきたい。」と抱負を語って頂きました。

他にも、藤丸建設の特徴である外断熱工法やその効果、蓄熱暖房機を使用した際の温湿度性能データなど、スライドやグラフを参考にお話をして頂き、会場のお客さんからの質疑では、既設の家の断熱効果を高めるための対策を教えて欲しいとの声があがり、材料名や施工方法などを丁寧に話して頂きました。

藤丸社長のお話を聞いていると、『気持ちを込めた気持ちの良い家』という言葉の重みを感じ、木の事を深く知り、木を大切に扱う姿勢の徹底ぶりには、木造住宅に拘る大工職人としての誇りと、心からお施主様を大切に思う気持ちが伝わってきました。

盛大な拍手の後、阿南部会長より『閉会の挨拶』を頂きまして、講演会を終了しました。

その後、希望者による住宅相談会が行われました。

相談会では、木についてよく勉強されている一般の参加者の方がいらして、他の参加者の方の相談にのるという光景も見られ、参加者の方同士の交流も見られたことは、新しい形であり、1つの成果であったと思います。

また、一般参加者の方々に書いて頂いたアンケートには、「木の家の良さが分かり、断熱についても詳しく理解できた」「体験談や数値評価でお話頂き楽しかった」「藤丸建設の内覧会・棟上げから施工中の案内を頂きたい」「真心のこもったお話で、とても心に訴えかけるものがあった。運営についても、手作りで人の温かさが伝わるものだった。大変参考になった。」などの感想を頂きました。

今後取り上げて欲しいテーマなどについては、「女性建築士の話を聞きたい」「(県産材を使った)プランやコスト面について知りたい」「対話形式で行ったら面白いのではないか」「会場への木材の展示をしてはどうか」といったご意見や、「ライフサイクルからみた木造ハウス」「火災災害」「地球温暖化」「資金制度」といった具体的なキーワードをあげて下さる方もおり、今後の住宅セミナーへの期待の声を頂く事が出来ました。御協力、ありがとうございました。

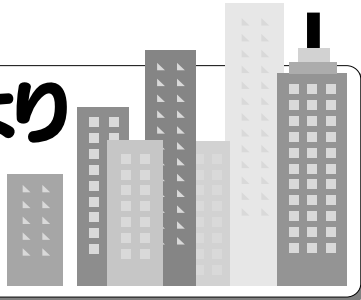
今回の住宅セミナーの参加者は35名でした。

講演者のお二人をはじめ、参加された皆様、県担当者様、建築士会青年部・女性部の皆さん、お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。



# 行政だより

大分県 建築住宅課



## 建築士法の改正について

### (1) 構造設計一級建築士制度及び設備設計

#### 一級建築士制度の資格取得のための講習について

平成18年12月20日に公布された改正建築士法において、構造設計一級建築士制度及び設備設計一級建築士制度が創設されました。

一定規模以上の建築物の構造設計については、構造設計一級建築士が自ら設計を行うか若しくは構造設計一級建築士に構造関係規定への適合性の確認を受けることが義務付けられ、また、一定規模以上の建築物の設備設計についても、設備設計一級建築士が自ら設計を行うか若しくは設備設計一級建築士に設備関係規定への適合性の確認を受けることが義務付けられることとなりました。

構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士の資格を取得するためには、原則として、一級建築士として5年以上構造設計又は設備設計の業務に従事した後、国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う講習の課程を修了することとされており、改正建築士法の施行前においてもその講習の実施（いわゆる「みなし講習」）が認められているところです。（改正法の施行は平成20年11月末の予定）

構造設計一級建築士及び設備設計一級建築士の資格取得を目指されている方々に対し、国土交通省に設置されている社会資本整備審議会建築分科会基本制度部会において、平成19年12月に取りまとめられた内容に従って、現時点で(財)建築技術教育普及センターが計画している講習をご案内しますが、本講習が構造設計一級建築士及び設備設計一級建築士の資格取得のための講習として国から認定されるためには、今後制定される講習内容等について定められた法令の基準に合致する必要があることから、ご案内の講習実施方法等を変更する場合があります。

- ・ 構造設計一級建築士講習（福岡市）  
6/19(木)～6/20(金)、6/30(月)～7/1(火)  
考査7/20(日)
- ・ 設備設計一級建築士講習（福岡市）  
6/16(月)～6/18(水)  
考査7/13(日)

### (2) 建築設備士に一級建築士受験資格の付与することについて

昭和56年建設省告示第990号の一部を改正し、建築士法第14条第1号から第3号までと同等以上の知識及び技能を有する者として、建築士法施行規則第17条の18に規定する建築設備士として建築に関して4年以上の実務の経験を有する者を定め、新たに一級建築士受験資格を付与することとされました。これにより、該当する者は平成20年度の一級建築士試験から受験が可能となります。

### 定期報告制度の見直しについて

#### (1) 定期調査・検査の項目、方法、基準の明確化

定期調査・検査の業務基準、日本工業規格の検査標準の建築基準法上の位置付けを明確にするため、国土交通大臣が定める調査・検査の項目、事項ごとに、国土交通大臣の定める方法により調査・検査を行い、国土交通大臣の定める基準により是正の必要性等を判断することとします。

#### (2) 報告内容の充実

定期報告の内容を充実し、報告を受けた特定行政庁が適切な措置を講じやすくするため、建築基準法施行規則で定める報告書の様式等について、以下のように見直します。

- ① 同じ様式の報告書を用いることとされている昇降機と遊戯施設について、それぞれ報告書の様式を定めます。
- ② 定期調査・検査において項目ごとに調査・検査をした資格者を明記するとともに、代表する立場の資格者を明確にします。
- ③ 調査・検査の結果指摘のあった項目に対する改善に関する事項及び前回の検査以降に発生した不具合に関する事項等を追加します。
- ④ 報告の際に調査結果表、検査結果表の添付を義務づけます。
- ⑤ 特に重要な調査・検査項目について、写真や試験結果の概要等の資料の添付を義務づけます。  
また、報告概要書の様式についても、調査・検査の結果指摘のあった項目に関する改善に関する事項、不具合に関する事項等を追加します。

#### (3) その他

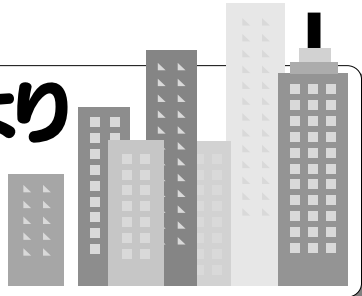
平成20年4月1日から施行します。なお、施行日前に調査・検査を開始した場合は、なお従前の例によることができるものとします。

※省令・告示・様式は下記国土交通省のHPからダウンロード出来ます。

<http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/teikihoukoku.html>

# 行政だより

大分市役所



## まちづくり三法の見直しに伴い大分市の都市計画を変更いたします

大分市では、人口減少・少子高齢社会を迎えるなか、まちづくり三法の見直しに伴い、都市機能の無秩序な拡散を防止し、都市の既存ストックを有効活用しつつ、都市機能を集約して環境負荷の小さいコンパクトな賑わいあふれる都市づくりへの転換を目指し、中心市街地活性化法に基づく中心市街地活性化基本計画の認定に向けての取組を行っています。

今回、この取り組みと併せて、大分都市計画区域全体においても、都市計画法の改正に基づき次のとおり所要の変更を行います。

### ①大規模集客施設等の立地制限

大分都市計画区域内のすべての準工業地域を対象とし、店舗・飲食店・遊技場等の大規模集客施設（床面積の合計が1万平方メートルを超える）の立地を制限するため、「特別用途地区」を指定するとともに、当該建築物を制限する「大分市特別用途地区建築条例」を定めます。

なお、三佐北地区住環境整備区域の一部については、区域内の住環境を保全するため、一定の事業を営む工場等についても同様に制限を行います。

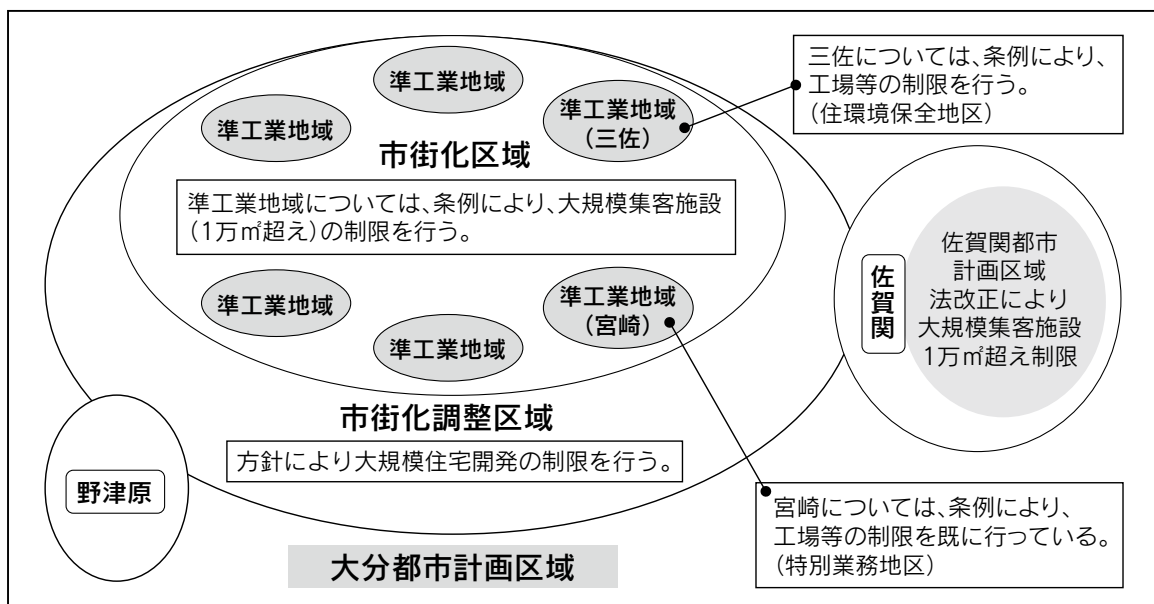
また、準工業地域の一部については土地利用状況、住環境の保全、交通影響等を考慮して、床面積の合計が3千平方メートルを超える集客施設についても、要綱において建築等の制限を行います。

### ②市街化調整区域における大規模住宅開発の制限

都市計画法の改正により市街化調整区域における大規模住宅開発を行う場合は、「地区計画」の都市計画決定が必要となりますが、現況調査によると50戸以上の既存住宅団地においては宅地の空き区画数が相当数あることが判明したところであります。よって、法の趣旨に即し市街化区域内の土地利用の促進を一層図る必要があることから、市街化調整区域内における大規模住宅開発については、当分の間、制限を行います。

### ③大分市都市計画マスタープランの一部改訂

以上の都市計画変更につきましては、大分都市計画区域全体における重要な方針や決定事項であることから、大分市都市計画マスタープランのうち、当該変更にかかる事項の一部改訂を行います。



具体的な施行日などについては、市報及びホームページに掲載いたします。

上記についての詳細な情報及び質疑については、大分市都市計画課 **TEL097-534-6111(内線1818)**まで。





## 事務局だより

### 【行事報告】

#### ■木造塾おおいた

日時 平成20年1月12日  
場所 コンパルホール 大会議室  
出席 25名  
内容 講師 藤本 登留氏 (九州大学)  
「木材乾燥の理論と実際」  
講師 城井 秀幸氏 (県林業試験場)  
「スギ材の大分式乾燥法」

#### ■木造塾おおいた

日時 平成20年2月9日  
場所 コンパルホール 大会議室  
出席 26名  
内容 講師 三澤 康彦氏 (建築家)  
三澤 文子氏 (建築家)  
「森と町を繋ぐ木の家づくり」

#### ■九州パッションinさが

日時 平成20年2月9日  
場所 唐津市 唐津市民会館  
参加 50名

#### ■建築士のための指定講習会

日時 平成20年2月18日  
場所 大分県教育会館 多目的ホール  
出席 60名

#### ■第4回大分県女性建築士住宅セミナー

日時 平成20年2月23日  
場所 大分文化会館 第1小ホール  
参加 35名  
内容 講演会・住宅相談会  
テーマ 「職人と木の家造り」  
(やさしさの家造り)  
講師 藤丸 直行氏 ((有)藤丸建設代表取締役)  
阿南 美根氏 ((有)藤丸建設棟梁)

#### ■木造塾おおいた

日時 平成20年3月15日  
場所 コンパルホール 大会議室  
出席 22名  
内容 大分の木造建築あれこれ  
講師 村松 幸彦氏  
井上 正文氏 (大分大学)

### 【会議報告】

#### ■第5回三役会

日時 平成20年2月1日  
場所 事務局  
出席 7名  
議題 1) 20年度に向けての会議等日程について  
2) 各委員会の状況について  
3) 建築構造技術センターの運営状況について

#### ■編集委員会

日時 平成20年2月6日  
場所 コンパルホール 303会議室  
出席 11名  
議題 「建築士おおいた102号」の発行について

#### ■第6回三役会

日時 平成20年2月25日  
場所 事務局  
出席 8名

#### ■編集作業 (建築士おおいた102号)

日時 平成20年3月5日  
場所 事務局  
出席 4名

#### ■(社)大分県建築設計事務所協会との協議会

日時 平成20年3月7日  
場所 コンパルホール 312会議室  
出席 7名  
議題 1) 建築士の定期講習等について  
2) 確認申請の現状について

#### ■編集作業 (建築士おおいた102号)

日時 平成20年3月17日  
場所 事務局  
出席 5名

## 【建築士会連合会関係】

### ■第17回まちづくり会議

日時 平成20年1月25～26日  
場所 (社)東京建築士会会議室  
出席 穴井委員長(まちづくり推進協議会)  
内容 事例報告、分科会、全体討論

### ■第5回まちづくりセミナー

日時 平成20年2月22～23日  
場所 白杵市 荘田平五郎記念「こども図書館」  
出席 井上副会長、石井常務理事、他有志  
内容 おはなし、まち歩き、論点の抽出、討議

### ■全国青年委員長会議

日時 平成20年3月7～8日  
場所 (社)東京建築士会会議室  
出席 後藤部会長、岐部幹事  
内容 基調講演、グループディスカッション

## 【九州ブロック会関係】

### ■青年建築士協議会・女性建築士協議会運営委員会

日時 平成20年2月9日  
場所 唐津市  
出席 後藤青年部会長、阿南女性部会長、  
岐部青年部幹事、中道女性部幹事  
議題 1) パッションinさが大会の運営について  
2) 「建築士の集い」沖縄大会  
進捗状況について  
3) パッションin長崎大会の  
進捗状況について  
4) 九州ブロック会長会議の報告について

### ■会長会議

日時 平成20年2月22日  
場所 佐賀市  
出席 芳山会長  
議題 1) 連合会会長候補者の選考について  
2) 九州ブロック推薦理事候補者の選出  
3) 役員候補者選考委員会委員の選出

## 【その他】

### ■建築確認円滑化対策連絡協議会

日時 平成20年2月13日  
場所 県庁舎103会議室  
出席 幸事務局長

### ■公益法人制度改革に関する説明会

日時 平成20年2月13日  
場所 コンパルホール 文化ホール  
出席 沖本副会長、幸事務局長  
内容 公益法人制度改革について  
(1) 公益法人行政の動向  
(2) 公益法人制度改革の概要

# 新 会 員 紹 介

(H.19年11月～12月入会)

支 部	氏 名	勤 務 先 (所在地)	電 話
別府	小野 勇治	(有)豊陽産建一級建築士事務所：別府市大字鶴見4548番地120	(0977)24-2233
佐伯	大林 豊文	大林建築	(0972)42-0749

(H.20年1月～3月入会)

支 部	氏 名	勤 務 先 (所在地)	電 話
別府	一木 貞幸	別府市役所：別府市上野口町1番15号	(0977)21-1111
大分	下瀬 恵美	(株)シモセ内装サービス：豊後高田市玉津1611	(0978)22-2453
大分	高浜 圭介	(株)飯田建築設計事務所：大分市高城新町14番16号	(097)555-9045
大分	飛延 克秀	大和ハウス工業(株)：大分市萩原1-2-40	(097)556-5379
大分	仲道 美紀	(有)岩賢住宅：大分市小野鶴下河原14-129	(097)542-4023

## 編集委員会では みなさんの投稿を待っています。

絵・スケッチ・CG・詩・短歌・俳句・随想なんでも結構です。あなたの知られざる才や技を御披露いただきたいのです。

各支部の編集委員までおとどけください。本部に直接送ってくださってもかまいません。よろしくお願ひ致します。

# CPD制度参加の皆様へ

## ★CPDデータ登録について★

CPD制度に参加し、CPD手帳をお持ちの方は毎年1回建築士会に手帳を提出し、データ登録を行ってください。貼付してあるシールの記録を行います。

また、実務実績についても所定の実務実績シートで申請することにより研修の実績とあわせて登録します。

申請書洋式は下記URLよりダウンロードできます。

[http://www.kenchikushikai.or.jp/cpd/data\\_kiroku/hf\\_data\\_kiroku.htm](http://www.kenchikushikai.or.jp/cpd/data_kiroku/hf_data_kiroku.htm)

## 平成20年建築士試験のご案内

### 【一級建築士試験】

	試験日	試験場
学科の試験	平成20年7月27日(日)	大分大学(旦野原キャンパス)
設計製図の試験	平成20年10月12日(日)	日本文理大学

### 【二級建築士試験】

	試験日	試験場
学科の試験	平成20年7月6日(日)	大分大学(旦野原キャンパス)
設計製図の試験	平成20年9月14日(日)	日本文理大学

### 【木造建築士試験】

	試験日	試験場
学科の試験	平成20年7月27日(日)	大分大学(旦野原キャンパス)
設計製図の試験	平成20年10月12日(日)	日本文理大学



春らしくなってきた。  
気分がよくなりました... Aki

今日はEON 4セクターだ  
Y.T

原稿は、書くけど編集は始  
められず、大変な作業です  
ね。 K.G.



編集作業、今回で終わります。  
皆さん、ありがとうございました。  
A.M

みなさんおつかれさまでした。  
来期は、こへ返ってこれるか  
わがかりません。  
いつかどこへ行くだろう...  
K.O

広報委員

担当副会長	〈佐賀県〉	川口	青史
委員長	〈大分〉	長野	幸博
委員	〈大分〉	宮崎	隆一
"	〈国東〉	上野	貢靖
"	〈別府〉	河村	登喜雄
"	〈臼杵〉	板井	達巳
"	〈三重〉	岡部	和直
"	〈玖珠〉	穴井	淳一
"	〈中津〉	富部	
"	〈日田〉	日高	

編集委員

委員長	〈大分〉	長野	保幸
副委員長	〈津久見〉	竹田	光徳
"	〈日田〉	秋和	夫二
委員	〈高田〉	後藤	憲軍
"	〈国東〉	菊本	宏基
"	〈別府〉	岡田	嗣朗
"	〈大分〉	三ツ股	敬行
"	〈大分〉	坪井	尚之
"	〈大分〉	飯倉	尚久
"	〈大分〉	岐部	和美
"	〈大分〉	高山	鮎文
"	〈佐賀県〉	川口	尚文
"	〈臼杵〉	河野	恵美
"	〈佐伯〉	寺前	嘉二
"	〈佐伯〉	中田	智佐美
"	〈三重〉	後藤	康仁
"	〈竹田〉	伊東	政博
"	〈玖珠〉	佐藤	誠司
"	〈中津〉	松下	明美
"	〈宇佐〉	奥田	和彦

建築士大分

2008. 4 No. 102

(非売品)

平成20年 4月3日 印刷

平成20年 4月3日 発行

編集/発行所  
社団法人

大分県建築士会  
〒870-0022  
大分市大手町2丁目2-7田原ビル2F  
TEL 097-532-6607  
FAX 097-532-6635

# 士 楽 豊

# 式 会 会

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高 田	879-0605	豊後高田市御玉199	0978-24-0418
国 東	873-0503	国東市国東町安国寺718	0978-72-2887
別 府	874-0845	別府市大字鶴見字角田3220-3 別府建築士事務所会館	0977-67-4488
本部・大分	870-0022	大分市大手町2-2-7 田原ビル2F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市大字佐賀関3068 高島建設(株)内	097-575-0116
臼 杵	875-0082	臼杵市稲田中尾下1000-1 (有)みえのブロック内	0972-63-6695
津久見	879-2475	津久見市大字堅浦421-3	0972-82-1805
佐 伯	876-0813	佐伯市長島町1-3-11	0972-23-6099
三 重	879-7131	豊後大野市三重町市場701-5 ウィリングリービル	0974-22-6606
竹 田	878-0026	竹田市大字飛田川1618-6	0974-62-3711
玖 珠	879-4331	玖珠郡玖珠町大字戸畑3466-1 高倉ホーム内	0973-73-7436
日 田	877-0025	日田市田島1-7-43-1F 102 (有)藤原設計内	0973-24-6022
中 津	871-0024	中津市中央町1-5-24 中津建築会館	0979-24-3597
宇 佐	879-0454	宇佐市大字法鏡寺290-1 服部第3ビル102号	0978-33-3395
本 部	<a href="http://www.oita-shikai.or.jp/">http://www.oita-shikai.or.jp/</a>		
高 田 支 部	<a href="http://www2.ocn.ne.jp/~o-takada/">http://www2.ocn.ne.jp/~o-takada/</a>		
国 東 支 部	<a href="http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/">http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/</a>		
別 府 支 部	<a href="http://www.beppu-yukemuri.com">http://www.beppu-yukemuri.com</a>		
大 分 支 部	<a href="http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/">http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/</a>		
佐 賀 関 支 部	<a href="http://www.d-b.ne.jp/sekisibu/">http://www.d-b.ne.jp/sekisibu/</a>		
臼 杵 支 部	<a href="http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/syoukai.htm">http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/syoukai.htm</a>		
津 久 見 支 部	<a href="http://www.bungo.or.jp/t-shikai/">http://www.bungo.or.jp/t-shikai/</a>		
佐 伯 支 部	<a href="http://www.geocities.jp/o_s_kentikusi/">http://www.geocities.jp/o_s_kentikusi/</a>		
三 重 支 部	<a href="http://www16.plala.or.jp/sok-mie/">http://www16.plala.or.jp/sok-mie/</a>		
竹 田 支 部	<a href="http://ww61.tiki.ne.jp/~kentikusi-ta/index.htm">http://ww61.tiki.ne.jp/~kentikusi-ta/index.htm</a>		
玖 珠 支 部	<a href="http://homepage3.nifty.com/ken-kusu/">http://homepage3.nifty.com/ken-kusu/</a>		
日 田 支 部	<a href="http://www.d-b.ne.jp/ken-hita/index.htm">http://www.d-b.ne.jp/ken-hita/index.htm</a>		
中 津 支 部	<a href="http://kentikusi-nakatu.net/">http://kentikusi-nakatu.net/</a>		
宇 佐 支 部	<a href="http://www.d-b.ne.jp/usasikai/">http://www.d-b.ne.jp/usasikai/</a>		

**会 員 増 強 に ご 協 力 を !**

~会員二人で、一人の入会勧誘を~  
目標3,000人突破



社団法人 大分県建築士会